

(D) スクールの未終了について

- 天候、海洋状況、体調、個人差等の問題により予定通り講習を終了できない場合がありますので、予めご了承ください。
- 天候、海洋状況により、海洋実習が行えなかった場合には、ご帰国後、国内（伊豆、沖縄など）の契約ダイビングスクールにて受講が可能です（往復の交通費、宿泊費、食事代、追加講習代はご負担いただきます）。ご帰国後、講習状況を確認の上、販売店を通じてご案内します。
- お客様の体調、個人差等の問題により、現地滞在中に海洋実習を終了できなかった場合、ご帰国後、国内（伊豆、沖縄など）の契約ダイビングスクールにて受講が可能です（この場合は往復の交通費、食事代に加え、追加講習代金もご負担となります）。講習状況を確認の上、販売店を通じてご案内します。
- PADIの場合、限定水域および海洋実習1・2（通常の初日過程）までが終了している場合には「オープンウォーター」より下のランクにあたる「スクーバダイバー」の認定証が発行されます。但し、スクーバダイバーの認定証は12mより浅い水域限定、PADIダイブマスター以上の資格者同伴必須などの条件があります。詳しくはその際に現地でお尋ねください。
- 帰国後、さらに「オープンウォーター」を取得するには別途講習費が必要です。
- 帰国後の受講可能期間は12ヶ月以内となり、トランスファースクールにご参加のお客様は日本での学科講習終了を確認できるスチューデントレコードのコピー等（インストラクターの署名（サイン）のあるもの）が必要となります

(E) ダイビング器材について

快適なダイビングを楽しむためには、体によりフィットしたダイビング器材の着用をおすすめします。特に視力のよくない方は自分にあった度付きのマスクをご用意いただくことを強くおすすめします。現地には限られたものしかありませんし、自分に合った視界を確保することもダイビングを安全に楽しむためには必要です。レンタル器材については、既成サイズ（S～XL）のウェットスーツが体型に合わない方（おおむね胸囲100cm、体重80kg、身長185cm以上）はウェットスーツをお客様でご用意願います。日常生活においてメガネ、コンタクトレンズををご使用の方は安全上、海洋実習時には、ご使用いただけません。また、度入りレンズ付マスクのレンタルは行っておりませんので、ご出発前にご自身の視力に合ったマスクをご用意下さい。

(F) 航空機に預けるダイビング器材について

チェックインの際、航空機に預ける荷物のご出発される方面により、サイズ・個数等の規定があります。ダイビング器材をお持ちになる場合、規定内のサイズ・個数であっても超過手荷物の対象となる場合があります。詳細は各航空会社へお問い合わせ下さい。

※コンチネンタル航空グアム、パラオ路線は32kg×2個の預け手荷物

(G) ダイビング後の飛行機搭乗に関するご注意

規定により搭乗日の搭乗前には、ダイビングができませんのでご注意ください。18時間以上あけることが原則となりますが、数日間連続してダイビングを行った場合や減圧が必要なダイビングを行った場合は18時間以上待機時間が必要となります。現地にてご帰国便をダイビングサービスにお申し出の上、お申し込みください。また、ダイビング後18時間は、飛行機搭乗だけでなく、スカイダイビング・高地への移動もすることはできません。ご帰国便をご確認の上、お申し込みください。

(H) ダイビング中のご案内とご注意

全コース共、ホテルからダイビングサービスまでの往復送迎、ダイビング及び、スクール受講中は弊社以外のお客様と一緒になります。また、ダイビング中はグループの安全やペースなどを考慮してダイビングのスタッフの判断に従っていただく事が前提となります。また、潜水前に質問などがあれば必ずスタッフにおたずねください。不安なまま参加しないことも安全ダイビングの基本です。

(I) スクーバダイバー等、エントリーレベル前段階のカードお持ちの方について

PADIスクーバダイバー、NAUIパスポートダイバーなど、エントリーレベル前段階のカードをお持ちの方は、各認定団体により、ダイビングの活動範囲の違いや制限などにより、ご希望のダイビングポイントにお連れできない場合やファンダイブにご参加いただけない場合があります。